

## KOBE ゼロカーボン支援補助金制度審査基準（スタンダード枠）

100 点満点

項目	内容	満点
計画性	・活動の計画が具体的か	10
脱炭素効果	・「脱炭素に繋がる取組」の実施方法やその規模等から、脱炭素効果を期待できるか	15
啓発効果	・「学び・体験の機会を創出する取組」の実施方法や内容、規模が具体的か ・効果的な啓発方法となっているか ・市民の行動変容・機運醸成の内容は具体的か ・周知方法や周知する内容の工夫点	25
将来性	・活動の継続性（資金面や人手、実施体制の見通し等） ・他の個人・団体も再現できる活動内容か	25
新規性	・「脱炭素に繋がる取組」や「学び・体験の機会を創出する取組」の内容に、新しい視点やアイデアが取り入れられているか	20
その他	①申請主体は市域関係者か 3点（市民、市内本社の法人、市内教育機関・研究機関）、 2点（市内事業所をもつ法人、市内で脱炭素に係る活動実績がある者） 1点（それ以外） ②過去の申請実績 2点（1回目） 1点（2回目以降、最大5回目まで）	5

備考：獲得点数が満点の 60%に満たない事業については採択しない。

## KOBE ゼロカーボン支援補助金制度審査基準（先進枠）

項目	内容	
計画性	・具体的な計画に基づき、適切な事業実施を期待できるか	有識者意見
先進技術	・脱炭素を実現するための技術が先進的か ・将来的な脱炭素効果や社会実装を期待できるか	

備考：①申請主体が域関係者か ②過去の申請実績も加味して、総合的に採択事業を決定する。

## KOBE ゼロカーボン支援補助金制度審査基準（学生枠）

50 点満点

項目	内容	満点
テーマ	・ 市民の意識醸成をより期待できるテーマが設定されているか	5
計画性	・ 活動の計画が具体的か ・ 神戸市内の取組について多く情報発信しているか	10
啓発効果	・ 情報発信の内容が具体的か ・ 脱炭素について正しく理解できる啓発内容になっているか ・ 情報発信の方法が具体的か ・ 効果的な情報発信の方法となっているか ・ 創意工夫の内容 ・ 市民の行動変容・機運醸成といった啓発効果	35

備考：獲得点数が満点の 60%に満たない事業については採択しない。